

送水管の流量・消費量・圧力を遠隔監視

概要

ユーザー様の水処理・冷却システム向けに高度な遠隔監視システムを導入しました。このシステムでは、ORB通信ゲートウェイに接続された磁気流量計、圧力センサー、温度センサーがModbus経由でデータをリアルタイムに取り取り、4G携帯電話回線経由でハイドロテック社のクラウドポータルサイトに測定データを送信されます。

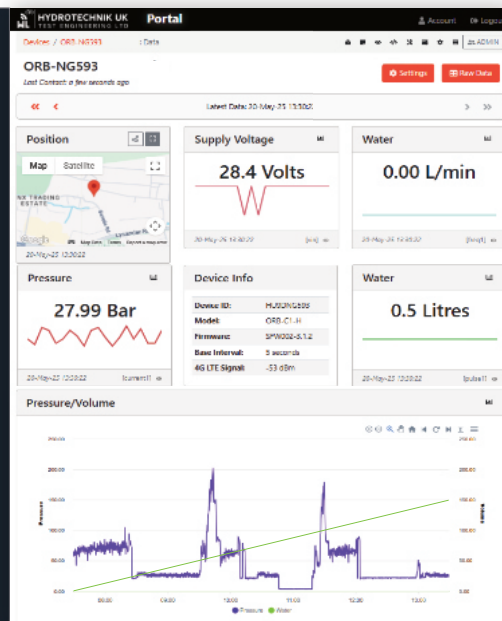
現状の課題

水の流量と消費量、圧力、水温を常時監視し、潜在的な問題を検知し、施設全体の稼働状況を最適化するための信頼性の高いソリューションを必要としていました。また、クラウドポータルの確立とアラート出力へのアクセスには、複数のユーザーが異なるアクセスレベルを必要としていました。さらに、セキュリティリスクを排除するため、社内ITインフラストラクチャから独立して動作するシステムも要求されていました。

送水管の流量・消費量・圧力を遠隔監視

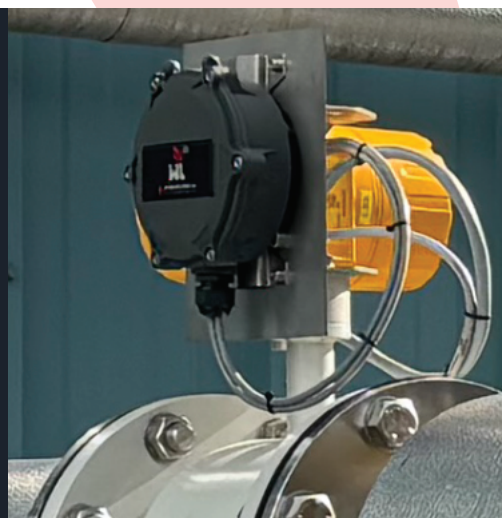
ソリューション

敷地内の主要地点に複数台のORBユニットを設置し、流量と水量、圧力、水温を継続的に監視し、測定データをクラウドポータルに送信します。システムのリアルタイムの測定値とアラート発出により、流量の大幅な変動が通知されます。また、最大2年間の履歴データを保存できる為、長期的な傾向を把握するにも役立ちます。本システムを活用することにより、複雑なIT統合が不要になり、小さな投資で設備の稼働効率が向上します。



結論

遠隔監視システムにより、リアルタイム測定監視、アラート発出機能、そして履歴データへの容易なアクセスを実現し、運用効率の向上と潜在的な問題の迅速な特定・解決を実現しています。今後、ユーザー様では水位センサーなど他センサーを敷地内の貯水地エリアでも機能追加を検討していく予定です。



“Watchlog Pro遠隔監視システムは、ポンプの稼働率が想定の3分の1にまで低下していることを即座に警告してくれました。これまで簡単に見過ごされてしまう可能性のある問題です。リアルタイムの警告と分かりやすい測定データアクセスにより、問題に迅速に対処し、資源の無駄を未然に防ぐことができます。このシステムにより、水使用量の監視がシンプルかつ効果的になりました。問題を早期に検知し、レポートを出力できる機能は、弊社にとって非常に貴重システムです。”

—ユーザー様からのコメント—